

2014

Vol. 22

+

JAPANESE RED CROSS
SOCIETY FUKUOKA
PREFECTURAL CHAPTER
THE SPECICAL NURSING HOME
HOJUJEN



FRUIT FULL TREE

豊かな樹 ・ 豊寿園

人間を救うのは、人間だ。 Together for humanity

 **日本赤十字社**
Japanese Red Cross Society

災害時における介護支援検討プロジェクトが 始動！

写真上：当時の救護活動報告を行う坂根通所介護係長
東日本大震災では、3月20日より事務支援で救護活動に参加し、4月、5月と介護支援で2回、計3回の支援活動に参加しました。震災の早い段階から、時と共に変わるニーズとその支援についての問題点など詳細な報告が行なわれました。



写真中、下：柴田事業一課長、森救護係長の進行で検討会が勧められました。



平成26年2月17日 日本赤十字社福岡県支部において、「介護支援検討プロジェクト」が開催されました。

日本赤十字社は、平成23年の東日本大震災において、医療救護活動だけではなく、初めて介護チームを被災地へ派遣し、被災地の介護職員の疲労軽減と避難者の健康維持を目的とした支援活動を実施しましたが、福岡県支部では、全国に9施設ある日赤の特別養護老人ホームのうち、実に3施設を有しており、東日本大震災においても延べ17名の介護士等を被災地に派遣しました。

このプロジェクトは その経験を活かし、今後の大規模災害に備えることを目的として、本県支部管内の社会福祉施設に勤務する介護士等を中心に、災害時等における介護支援チームの活動についての検討を行うものです。

当日は、県内3施設と支部から東日本大震災の時に介護チームに参加した職員が参加し、当時の活動報告や今後の取り組みについての検討が行われました。

これからも検討を深め、より良い介護支援が行える体制作りに取り組んでいきます。





豊寿園子供ボランティア隊 始動！

前号でお伝えした「豊寿園子供ボランティア隊」が4月より始動しました。これは次世代の地域福祉を担っていく小中学生が、その地域に住む元気なお年寄り宅へ訪問し、お年寄りが普段一人ではなかなかできない事を子供達と一緒に楽しくお手伝いをさせていただくというものです。

4月3日に、今回応募いただきました松ヶ江北小学校の小学生8名のオリエンテーションを開催しました。

当日は、ボランティア活動の心得や、お年寄りが日常生活で困っていることなどを学んでいただき、全員で活動のイメージを共有しました。

子供ボランティアの隊員は随時募集しています。興味をお持ちの方はお気軽にお問い合わせください。



活動していただく方には、登録証をお渡します。地域の福祉を担う隊員の証です。

夜間想定避難訓練を行いました！

3月27日に夜間に火災が起こった想定での避難訓練を行いました。園内で出火した際の、初期消火と消防署への通報、安全な場所へご利用様を誘導する訓練を行いました。終了後には、消火器を使って消火訓練を行いました。



万一の火災を考え、参加した職員も真剣な様子で取り組みました。

あなたと向き合った日々

HOUJUN × Family



畑中様ご夫婦 思い出づくりの行事で、門司港レトロに出かけた時の一コマ

ご家族様の介護に取り組んだ経験をお話いただくこのコーナー。今回、荒木係長のインタビューに応じてくださったのは、畑中武良様の奥様(民子様)です。

あの時病院で診察を受けていれば、と後悔しています

脳梗塞が発病する3年前、現役時代毎日結んでいたネクタイが結べない！結び方を忘れたと・・・あの頃に病院で診察を受けていればと今は後悔しています。

平成22年2月始め午前2時頃、頭痛がひどくて救急車で病院へ行きましたのに、精密検査をしなかったのがまずい結果となりました。

数日後の朝5時に、トイレがオシッコで洪水になっていました。灯りのスイッチの位置を忘れて暗闇の中で用を足したとの事。そして2回目の発作が起きて、救急車で再び病院に行き、即入院になりました。

結果、脳梗塞の為右半身不随になり15日間の治療でした。全身に管がいつぱい付いているのに、立ち上がるうとしてそれは大変でした。

それから近くのクリニックに移り約2ヶ月入院しましたが、歩けないのに立ち上がるものですから車椅子に固定されて、本人は「1、2、3！」と大きな声で騒いでいました。早く逃げ出したいという想いから、違う病院へ転院しました。そこではリハビリがあり、本人も喜んで、痛くても歩行訓練やボーリング等のゲームに取り組み5ヶ月間入院していました。

悲しい様な、ホツとした様な複雑な気持ちでした。

8月30日、88歳の誕生日に豊寿園へお世話になることになって現在に至ります。豊寿園に入所が決まった時は、やっと落ち着く所が見つかったと安心したのと同時に、主人は今後ずっとこの豊寿園で生活するのだなど、悲しい様な、ホツとした様な複雑な気持ちで、私は豊寿園の正面玄関で立ちすくんだまま、一点をぼやーっと見つめていました。

今でも毎日面会に行っています。土、日は娘に主人の面倒を見て貰って、月曜から金曜を、私の主人との会話の日にしていきます。

左手では上手に食事が出来ないのでも食の手伝いをしたり、おしゃべりの相手を少しでも淋しい気持ちと心を和らげてやりたいと心掛けています。



車いすを押しながらどんな会話をされているのでしょうか・・・

時には、今日一日休憩したいと思う時もあります。でも、「おはよう」と声をかけた時にニッコリして「うれいいなあ」と喜ぶ顔を見るとやはり休む事ができません。本人の年齢や誕生日を毎日教えていますがすぐに忘れず。でも「今度自分が歩けるようになったら、母さんの為に何か役立つ事するよ」とか、私が足を擦ってあげたり、職員さんがオムツを取り換えてくださったとき等には「気持ち良い、有難う、有難うございます」と感謝の言葉が返ってきます。

体格の良い主人のお世話は大変だと思えますのに、介護の方々はキビキビと手際よくお世話下さり、ただ有り難く感謝致しています。あれ程入院を繰り返していたのが不思議な位です。

去年は思い出づくりの行事で、門司港レトロへ一緒に外出することができました。今年は60年程住んでいた鳴竹を巡りたいと思案しています。

福祉 — ロメモ

平成26年4月から介護サービスの利用者負担が変わります。

平成26年4月からの消費税引き上げ(5%→8%)に伴い、介護サービスの利用者負担も変更となりました。

介護サービス事業者がおむつなどの消耗品や施設の備品等を購入する時には消費税が上乗せされますが、事業者を支払われる介護報酬は非課税のため、事業者の実質的な負担が大きくなってしまいます。

この負担を解消し、サービスを安定的に提供するために、消費税引き上げ分を介護報酬に上乗せ(平均0.63%)することで事業者の負担軽減を図ることになりました。

介護報酬が変わったため、サービスを利用したときにかかる利用者負担(原則として介護報酬の1割)も変わりました。

在宅サービスの上限額も変更されました。

サービス費用引き上げの影響により、利用者の方への負担が増えないように、1カ月の介護保険で利用できる上限額(支給額)も引き上げられました。

在宅サービスの支給限度額

要介護状態区分	これまで	平成26年 4月から
要支援1	4,970単位	50,03単位
要支援2	10,400単位	10,473単位
要介護1	16,580単位	16,692単位
要介護2	19,480単位	19,616単位
要介護3	26,750単位	26,931単位
要介護4	30,600単位	30,806単位
要介護5	35,830単位	36,065単位

介護 — ロメモ

取っ手があるととっても便利!?

今回ご紹介するのは、俗に「リハビリ食器」と呼ばれる便利グッズです。

病気やケガによって利き手が不自由になった時、皆様はどのようにして自分で食事をするでしょうか？

稀に両利きだから大丈夫、とおっしゃる方もいらっしゃいますが、多くの方は利き手が上手く使えないだけで、日常生活に大きな支障が生じることと思います。

特に高齢の方は、長年培った生活習慣、こだわり、癖といった「いつもと同じように」が出来ない歯がゆさ、くやしさ、イライラは大きくなると考えられます。

そういった方を対象に、少しでも自力で食事ができるようにするための介護用品が数多く存在し、豊寿園でも実際に使用しています。

写真のとおり、持ちやすい取っ手の付いたスプーンや、淵の反り返った皿(底はシリコンで滑りにくくなっています)は、片手で食べてもこぼれにくい優れものです。

その他にも様々な形のリハビリ食器がありますが、近年では介護用品をいたる所で取り扱っています。ご家庭で食事の自立支援にお困りの方は、知恵と工夫を形にした便利グッズをぜひ、検討されてみてはいかがでしょうか？



自分で頑張りたい!という気持ちを支えるための福祉用具です。豊寿園でも様々なものを利用しています。





ご利用者様からのお酌で、花見酒に舌鼓



待ちに待った春 笑顔もはじけます

長く寒い冬は屋内で行っていた行事も、あたたかな春を迎えて皆さんと屋外に飛び出しました。



デイサービスではお好み焼き作りにチャレンジ



おひなさまと一緒に記念撮影



出張売店でお買い物 どれにしようかな

豊寿園

検索



パソコンに豊寿園と入力しクリック

お知らせ

特養の申し込み締め切り間近！

市内特養の入所申し込みは、4月30日締め切りとなっています。

平成26年6月1日から11月30日までの待機をご希望の方々は、急ぎ利用申し込み書を希望施設までお届けください。

利用申込書が必要な方は、生活相談員までお声かけください。

お支払い方法が変更になりました！

豊寿園のショートステイ・デイサービスの利用料のお支払方法について、これまでは、お振込もしくは現金でのお支払いをお願いしておりましたが、4月のご請求分より口座からのお引き落としも対応させていただきます。

口座については、名義や金融機関の別を問わず、ご利用いただけます。

ご希望の方がおられましたら、必要書類をお渡しいたしますので、担当職員までお申し出ください。

編集後記(editorial note)

満開の桜たちも、今年は何とか子供たちの入学式まではその綺麗な姿を楽しませてくれました。

春は出会いの季節、豊寿園でも部署間の異動や転入者などがあり、少しバタバタとした新年度を迎えました。

私自身も、2年間の本社総合福祉センターでの勤務を終え、4月より古巣に戻ってまいりました。

はじめましての、ご利用者様と職員たちの名前と顔を覚えることからのリスタートですが、一から豊寿園を研究し、広報担当者として様々な事にアンテナを張っていきたいと思います。

さて、この「豊かな樹」もvol22となり、今号で平成25年度の委員は交代となります。次号からは26年度の委員が、豊寿園の内外の取り組みを皆様に発信していきますので、どうぞお楽しみに。

平成26年度広報委員 森 英樹

地域ぶらり情報

Photoの中の世界は新しい門司港

豊寿園に勤務する職員がお勧めの地域情報を紹介するコーナーです。

今回ご紹介するのは、ARTSCHEMEです。



Re/Mojikoという言葉を理念に新しい門司港の再発見と再構築(捨てるから活かすへ)を推進しながら、門司港レトロエリアの魅力をより深く伝えていくために活動をしている写真家 山城淳一さん。ARTSCHEMEには、そんな思いが詰まった風景が沢山あり、門司港にはこんな景色があるのかと再発見ができます。

「門司港を良くしたい」自分にできることはと2年前に門司港にデザイナーの奥様とお店を開き、ワークショップなど行っています。店内には、山城さんが撮影した門司港の風景の写真を、特殊キャンパスに印刷したものを張り付けたフォト木枠やカード、作家さんが作成した雑貨などが販売されています。トイカメラや、なかなか手に入りやすくなった135mmフィルム(一般用カメラフィルム)もあります。キャンパス地の木枠は年数が経つにつれ、違った感じになって愛着がわいてきます。また、好きな写真でオーダーもできるので、あなたの記念の一枚を作ってみてはいかがでしょうか？

『ART SCHEME』

北九州市門司区西海岸1-4-16
新海運ビル1F
TEL 070-5279-9416
営業時間 1100~17.00
定休日 火・水曜日



2月 新門司保育所との交流会を行いました。いつもは、豊寿園で行っていますが、今回はデイサービスのご利用者様が保育所を訪問しました。

園児との手遊びでふれあった後は、プレゼントを交換しました。



かわいい園児さんとのふれあいに笑顔がこぼれます

とよ
クロス!
計画

赤 十 字 が つ な ぐ

人 と 人 と が 交 錯 す る そ ん な 場 所 で あ り た い



3月 福岡市南区西高宮校区社会福祉協議会の皆さんが視察研修に来所されました。

園内の説明をお聞きいただいた後、園内を実際に見学され、普段なかなか目にする事のない、車いすや特殊浴槽などの設備などに興味をひかれた様子でした。

私も「こんなお風呂なら入ってみたい」という声も聞かれました。





日本赤十字社

We are volunteer

赤十字活動や豊寿園を支えるボランティアさんを紹介するコーナーです。



しわ一つないベッドが仕上がります

清潔な寝具は、健康な生活の第一歩です。リネン交換という活動は、ご利用者様の健康を支える、とても大切な活動です。

皆さんベテラン揃いのため、慣れた手つきで、テキパキと古いリネン類をはがして、代わりに新しいものに張り替えていきます。

今回は、毎週木曜日の午後に行っていた、リネン交換の様子をご紹介します。職員から新しいリネン類を受け取ったら早速活動開始。特養内のお部屋を時間の許す限り順番に回っていました。

今回は、毎週木曜日の午後に行っていた、リネン交換の様子をご紹介します。職員から新しいリネン類を受け取ったら早速活動開始。特養内のお部屋を時間の許す限り順番に回っていました。

今回は、毎週木曜日の午後に行っていた、リネン交換の様子をご紹介します。職員から新しいリネン類を受け取ったら早速活動開始。特養内のお部屋を時間の許す限り順番に回っていました。

今回は、毎週木曜日の午後に行っていた、リネン交換の様子をご紹介します。職員から新しいリネン類を受け取ったら早速活動開始。特養内のお部屋を時間の許す限り順番に回っていました。

ベッドの綺麗をお手伝い



人事異動のお知らせ

3月1日付

[介護]
 飯田 健太
 益田 佳吾

特養1階介護職員
 特養2階介護職員

→

特養2階介護職員
 特養1階介護職員

4月1日付

[事務]
 石田 悟郎
 松隈 諭至
 福田 康

豊寿園 庶務係長
 豊寿園 経理係長
 嘉麻赤十字病院

→

豊寿園 経理係長
 日赤九州国際看護大学
 豊寿園 庶務係

[介護]
 林田 浩彦
 寺岡 理恵
 松山 采華

特養1階副主任介護職員
 特養1階介護職員
 デイサービス介護職員

→

特養2階副主任介護職員
 特養2階介護職員
 特養1階介護職員

[居宅部門]
 坂根 琢也
 林田 幸子
 上野 美幸
 家中登喜子

在宅介護係長 兼 デイサービス管理者
 訪問介護サービス提供責任者
 訪問介護サービス提供責任者
 訪問介護 ヘルパー

→

通所介護係長
 特養1階介護職員
 特養1階介護職員
 デイサービス介護職員

[生活相談]
 荒木 美奈
 森 英樹

生活相談係長
 日赤総合福祉センター

→

生活相談係長 兼 在宅介護係長
 豊寿園 生活相談係(兼 介護長)

2014

Vol. 22

+

JAPANESE RED CROSS
SOCIETY FUKUOKA
PREFECTURAL CHAPTER
THE SPECIAL NURSING HOME
HOJUEN

豊
か
な
樹

F R U I T F U L L T R E E

豊
寿
園



人間を救うのは、人間だ。 Together for humanity

